

東北大学関東良陵同窓会

平成二十二年関東連合会総会のご案内

新緑の候、会員の皆様にはご清栄の段、お慶び申し上げます。
平成二十二年東北大学良陵同窓会関東連合会総会を下記の要領で開催したいと存じますので、なにとぞ万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りたくご案内申し上げます。

今回は、総会の前に「**関東良陵教職員会**」が、当日午後二時より、同四時まで、同じ会場にて開かれます。その際に前岐阜大学長の**黒木登志夫先生**（昭和三十五年卒）の「**大学病院の危機見捨てないで**」と銘打ったお話があります。学長としての実体験から**大学病院**のこれからを憂える内容です。（要旨は本紙四面に掲載）
次いで総会では、特別講演を**押田茂實先生**（昭和四十二年卒）
にお願ひして、「**科学の進歩と真相究明―DNA鑑定と足利事件**」（要旨は本紙二面）と題した講演をしていただくこととしております。

さらにお楽しみのアフターディナー・コンサートには、仙台のご出身の女流ヴァイオリニスト、**斎藤千種さん**がご出演になり、皆さまに親しまれているクラシック等の名曲の数々をご披露してくださいませ。

風薫る季節、奥様はじめご家族の皆様お誘いいただき、是非、ご出席賜りたく心からお待ち申し上げます。

東北大学良陵同窓会

関東連合会会長

高橋 俊雄

記

期日 平成二十二年六月十九日（土）
一、場所 市ヶ谷私学会館アルカディア四階

千代田区九段北四・二・二五
交通・地下鉄有楽町線。新宿線。

南北線。市ヶ谷駅下車、各徒歩二分
（電話03・3261・9921）

二、関東良陵教職員会開催 午後二時から同四時まで

三、総会受付開始 午後四時より

四、総会 午後四時三十分開会

一、開会の辞

一、経過報告、その他

一、閉会の辞

五、特別講演 演題『科学の進歩と真相究明―DNA鑑定と足利事件』

講師・押田茂實先生（昭和四十二年卒）

午後六時頃より開会

六、懇親会 アフターディナーコンサート

ヴァイオリン・斎藤千種・（後述）

会員 八〇〇〇円

七、会費

ご家族 五〇〇〇円（二人）

八、出席申込み

同封の郵便振替用紙に、総会出欠をご記入の上、総会費及び会員の年会費

三千円をご納入下さい。

*総会にご欠席の方は、年会費三千円のみをご納入くださいますようお願いいたします。会費納入率が低く年間の赤字が出ています。なお、八十歳以上の方で会費免除をご希望の方は事務局までお申し出下さい。

総会特別講演要旨

科学の進歩と真相究明

DNA型鑑定と足利事件

押田茂實

(昭和四十二年卒)

最近の科学の進歩は著しいが、それに伴って以前では鑑別することができない事実を解明可能な夢の鑑定法も次々と開発されている。

しかし、科学の進歩がそのまま凶悪事件の真相究明につながるには限らない。マスコミ報道やハイテク時代に大きな落とし穴は無いのだろうか？

1985年に日大教授に就任したが、DNA鑑定の二つの論文が発表された年でもありました。



1950年5月に発生した足利事件で、当時のDNA型鑑定が一致したという事で1991年12月に菅家氏が逮捕された。

最高裁で無期懲役が確定したが、その後の進歩したDNA鑑定で無実とされ、釈放されるまでに17年経過し、無罪判決が本年3月26日に確定した。拘留所から封書で送られてきた菅家氏の毛髪のDNA型が高裁判決でいう犯人のDNA型と異なるという検査結果(押田鑑定)を最高裁に提出したのは1997年であった。

最高裁でなぜ再DNA鑑定を命じなかったのか、その後の長い再審裁判中に時効を迎えて真犯人逮捕の道を閉ざしてしまった裁判所の責任が今後問われることになる。

目が見えるかどうかは眼科の領域であり、モノ言わぬご遺体や証拠品から真実を見抜くための科学的証拠をどこまで示せるかが法医学の重要な領域である。

目が見えるということと真実を見抜くということの間には大きな川が流れている！

押田茂實・法医学現場の真相(祥伝社新書、2010年4月)

写真上は、押田茂實先生

押田茂實先生略歴

埼玉県寄居町出身

昭和36年3月 埼玉県立熊谷高卒

同42年3月 東北大学医学部卒

同42年4月 東北大学医学部付属

病院研修(インターン)

同43年4月 東北大学医学部法医学助手

同53年12月 東北大学助教授(法医学)

同60年6月 日本大学医学部教授

平成19年4月 日本大学医学部次長

同20年4月 日本大学医学部法医学教授

(研究所)

講義担当・日本大学医学部(法医学)

日本大学法学部(法医学)

日本大学法科大学院(医療と法)

上智大学法学部(法医学)

慶応義塾大学法科大学院

(法医学)

埼玉県内の凶悪事件やひき逃げ事件等の司法解剖を分担。医療事故の鑑定や親子鑑定も実施中。

研究領域 医療事故の現状分析と予防対策、DNA型による親子鑑定、アルコール・中毒の代謝と分析など

表彰

平成19年3月6日 さいたま地検検事長感謝状

同20年1月25日 埼玉県警察本部長感謝状

同20年3月6日 警察庁長官より警察協力章

警察協力章

良陵同窓会「関東連合会」の足跡と今後の発展を切に祈る

神津康雄

東北大学医学部の良陵同窓愛は、昭和二十六年関東地方一都十県で「関東連合会」を組織してから今年でもう六十年近くになる。

私は昭和二十九年青森県浪岡町の町立病院長を辞して上京し世田谷で開業したのであるが、当時会務を担当しておられた津田一彦先生にご挨拶に伺ったとき、早速捉まっつて使い走り命じられてしまった。

その頃の東京は、未だ敗戦から十年も経たず廃墟の中から漸く立ち上がろうとしている状態だったが、世田谷は田舎だから空襲は免れ畑の中に建てた「第一病院」には忽ち患者が溢れ一日百人も越すようになってしまった。

医師会からも目をつけられて三十八年から区医師会理事に、五十二年区医師会長、五十四年都医理事、五十七年から日医常任理事になり、四十六年の保険医総辞退の時、日医武見太郎会長と一緒に必死で闘った。

開業医療と医師会活動に精を出す一方、私はまた昭和二十六年から日本寮歌祭という催しを始めた。この催しは全国一斉に拡がって五十年間楽し

ませて貰ったが、勸進元の私としては相当な時間を費やさざるを得なかった。

この三つの仕事の合間を縫って津田先生の指示に従っていたのであるが、このことは息抜きにもなって結構楽しませていただいたものの、今はもう同窓会の体制も整って完全に組織化され、私などが走り回ることには全く必要のない態勢になっている。

昭和三十年から四十年代にかけては、年に一回か二回、良陵同窓会総会が開かれ、上野の精養軒、日比谷の松本楼、赤坂のホテル、ニューオータニなどに偉い先輩方が集まって来られる格調の高い盛大な宴会が行われて、誇らしい気持ち味わったことを覚えてる。

そのうち、昭和三十八年七月黒川利雄先生が癌研病院長に赴任して来られてから更に同窓会が活発となり、四十六年から順天堂大学、懸田克躬教授を支部長に、大石環境庁長官を幹事に戴いた。そして昭和六十一年一月、黒川先生の米寿祝賀会を催した時は、帝国ホテル「孔雀の間」に六百名を越す参会者が溢れ、私は天手古舞をしてみた。

その後支部長は松永藤雄都立駒込病院長、斎藤達雄癌研病院長と続き、平成に入ってから一年一、二回の総会は、関東一円の各大学で活躍している若手教授の講演を主軸に盛大で親密な雰囲気総会が続けられている。そして、平成七年からは根本宏常任

幹事を始め十三名の幹事諸氏のご努力で本紙「関東良陵だより」が創刊された。この会報は昨年六月に市ヶ谷の私学会館で開かれた定期総会号まで二十八号の発刊を重ね、今はもう千五百名を越えている関東良陵同窓会會員同志の心を繋ぐ絆として重要な役割を果たしている。

明治四十年に創立され百年を越えた母校の歴史の中でも、大正九年から九十年以上もの古い同窓会活動を進めてきた本会がここで更に心機一転し、本紙がその進展する礎となつてゆくことを切に祈るものである。

(昭和十九年卒)

「関東良陵だより」並びに「関東良陵同窓会HP」への情報提供のお願い

関東良陵だよりは、これまで會員の皆様にごさまざまな情報を提供して参りました。また、東北大学良陵同窓会

関東連合会のホームページは、本部長同窓会のHPに先駆けて平成十七年に開設され、現在まで多くのアクセスがあります。今回、内容を充実するため、會員各位の情報(教授就任、叙勲、新規開業、就職希望、移動など)を募集することに致しました。東北大学良陵同窓会関東連合会東京支部(四頁最後)まで情報をお寄せ下さい。採否は、会長と事務局にお任せ下さい。(高橋俊雄)

アフターティナー・コンサート

☆総会後の懇親会に花を添えるイベント！今回は、仙台出身の名花・女流ヴァイオリニストの斎藤千穂さんにご出演いただきます。☆

☆斎藤さんは、東京芸大を卒業。在学中に日本フィルハーモニー交響楽団に卒業と同時に入団。オーケストラ、室内楽の演奏を全国各地で行っている。

プログラム

ジョン・ウイリアムズ編曲・タンゴ
クライスラー編曲・リムスキーコルサコフ
作曲シエラザードより アラビアの歌
クライスラー作曲・中国の太鼓・ウィーン
奇想曲・美しきロスマリン・愛の喜び
マスネ・タイスの瞑想曲、
モンテイ・チャルダシーユ・その他



写真右は、斎藤千穂さん

大学病院の危機見捨てないで

黒木登志夫
(前岐阜大学長)

*教職員会にて、黒木先生がお話くださる要旨です。

大学病院が危機に陥っています。事の発端は、2004年の国立大学法人化でした。法人化前、「親方日の丸」の気安さで、積み重ねた借金は、国立大学付属病院全部(四十二の病院)で一兆十億円に上がりました。

それから六年。大学は必死で返してきました。大学病院全体では、毎年一千億円強に上がります。巨額の返済に加えて、借金のある病院は、毎年収入を二%ずつ増やすことが義務づけられていました。病院の財政は危機的状況に達しています。『白い巨塔』は『赤字の巨塔』になったのです。このままでは『白い廃墟』にもなりかねません。

財政危機の影響はあらゆる面に出ています。採算重視のため、お金のかかる最先端の医療は出来にくくなりました。最新の医療機器も買えず、大学病院の機器は古くなる一方です。大学病院の大事な役割である研究をする余裕もなくなりました。

そのため、臨床医学の論文は、世界の中でも、日本だけが増えていません。

大学病院は、単なる大来な病院ではなく、医学と医療の中心です。次代を支える医師、看護師など医療スタッフを教育する責任があり、新しい医学を研究するのも、大学病院の大きな任務です。

地域医療においても、大学病院は「最後の砦」です。地域の病院から紹介された患者さんが七〇%を占めています。患者さんたちは「最後の望みの綱」求めて来ます。最も難しい手術(難易度E)が、大学病院の手術の三〇%以上を占めていることから分かって頂けるでしょう。

大学病院が崩壊したら、医療は土台から崩れることになります。わが国の医学と医療を守るためにも、大学病院を立て直さなければなりません。財政当局の方にお願いです。どうか、重症の大学病院を見捨てないでください。

(昭和三十五年卒)

東京医師アカデミー、シニアレジデント、クリニカルフェローの募集

東京医師アカデミーは、東京都の新しい専門医養成組織として現在、全国七〇の大学出身者約三〇〇名が後期専門研修に励んでいます。

来年度(平成二十三年)度もシニアレジデントと更に上級のクリニカルフェローを募集致します。詳細は東京医師アカデミーのHPをご覧ください。(運営委員長 高橋俊雄)

第十三回 女子部会開催のお知らせ

恒例の第十三回女医部会を七月十日(土)開催致します。今回は、皇室ジャーナリストとして活躍の渡辺みどり先生(文化女子大客員教授)をお招きしての講演を予定しております。ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますよう、ご案内申し上げます。

日時 平成二十二年七月十日(土) 午後五時より
場所 FM東京「JET STREAM」
交通 地下鉄・半蔵門線・半蔵門下車 徒歩三分
電話 03(3221)0192 (田中佐喜子)

平成二十二年第一回関東良陵同窓会役員会報告

去る、四月十五日(木)午後七時より市ヶ谷アルカディア私学会館において高橋会長以下、顧問、幹事二六名が、出席して役員会が開催された。

①春季総会につき②関東良陵教職員会講演③女医部会④会計報告(案)等⑤良陵だより二十九号進捗状況⑥三十号発行予定⑦高齢会員の会費免除、⑧秋季総会につき、各位から提案あり、審議の結果概ね原案通りに承認。

総会部会については、本号に掲載会計報告では、単年度若干の支出増となっているが、繰越金で充当することとし、会の継続運営を優先すること。また、高齢会員はお申し出により会費免除を行うこととなった。

会誌の配布と会費納入状況との検討が行われ、会誌が会員間の情報交換若い会員のための情報提供の場であることから、関東各支部の人事往来

等も掲載することとした。同時に、会員の現況把握に留意し、全会員への効率的配布を目指すこととなった。秋季総会は、本年は見送りとなった。(幹事長 新田澄郎)

新潟支部長交替

新潟支部長は、丸岡稔先生から鈴木正司先生(昭和四十三年卒)に交替になりました。

東北大学良陵同窓会

関東連合会東京支部
〒247-0072
神奈川県鎌倉市岡本
二二二・一七〇四
TEL & FAX
〇四六七(四五)〇二八七